



街にあふれた子どもの遊び

萩野矢慶記 写真・文 (彩流社)

メンコ遊び、コマ回し、馬とび、ゴムとび、泥んこ遊び……。一九七〇年代後半から子ども本来の遊びを撮り続け、次第に消滅に向かう過程もとらえた写真集。子どもの成育にも問題を提起する。



ラオスにいったい何があるか

村上春樹 著 (文藝春秋)

アメリカ各地、かつて住んだギリシャ、長編小説の舞台フィリピン、ラオス。そしてなぜか熊本……。村上春樹が訪れた世界のいろいろな場所について綴った紀行文集。



子どもはしゃいのお正月

さげさかのりこ 作 (福音館書店)

祭り囃子が生まれたのは江戸時代。その時代の音と踊りは今も、子どもたちに受け継がれている。元日に神様に奉納される「子どもばやし」の様子を、「ピーヒャラ」「ドンドコ」といったお囃子の音とともに描く。

1/16 ゆめっ子のおはなし会

とき 1月16日(土) 午後1時30分～
ところ 社会教育センター 幼児遊戯室
対象 小学校低学年、幼児
問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449

1/31 図書室休館のお知らせ

資料整理のため、1月31日(日)は、図書室をお休みします。2月2日(火)からは平常どおり利用できます。
問合せ 社会教育センター 図書室 28・5449

豊山俳句クラブ

青山克己選

葛紅葉峠に風のやさしかり 田村多喜子

初霜や遠き山々透明に 坪井昭子

山からの風やまるごと冬に入る 杉浦みどり

すれ違ふ香りの女や星月夜 村上ゆり子

黄の菊のかほりに朝の明けゆけり 小塚美枝

熊笹のつらら光りし登山道 石黒貴代子

木枯よ強く吹けよと柿干さむ 杉本衿子

街並みの影やはらかき秋の暮 坪井径子

柿たわわ老木に添ふ茅の家 安藤春一

秋寒の空のからっぽ小鳥啼く 青山とも子

病みし身と共に残りし木守柿 水野真弓

波うって光が走る芒原 高木須磨子

捨てされぬもの捨てにゆく花野哉 岡島 齋

カサコンと小さな内緒話かな 青山克己

豊山歌壇

水野笑子選

こんなにもまああるい物はない程の スーパームーンの輝ける夜 鈴木久子

天空に月皓々と神秘なり 鈴木弘香

生きてある老いの証と肯へり 水谷弘子

この夏の台風続きに異常気象 地球はこの先如何になるやと 水野勝代

編集後記

新年あけましておめでとうございます▼早朝、庁舎の屋上からまち並みを望んだ。あらためて、豊山の変化を実感する。入庁時、国際線ターミナルだった施設は、にぎわいはそのままに大規模商業施設となった。役場前の道路は拡張され、大型バスが頻繁に行き交う。一万三千人程だった人口は二千人程増えた。そして、名古屋空港の前にMRJの巨大な工場が姿を現した▼豊山は、なお変貌を遂げそう。工場は将来的に見学ができるように整備され、新しい航空機展示施設も建設される。未来にこれほど希望を持てる自治体はそうない。他自治体の職員と話をすると機会があると、羨望の的となる▼しかし、大切なのは、町民の暮らしに結びつけることである。住みやすさを実感でき、これからも住み続けたい、そう思っていただけのようなまちにすることが最大の目的である▼年の始めに、心を新たに、町民の皆さんとともに豊山町をよりよくしていきたい▼本年もどうぞよろしくお願いたします。